

修練会 気になる 1冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 2018年4月27日号 (通算第18号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

「ちょっと難しい1000のことば・ジュニア版」アーバン出版 ステップ1「10才までに覚えておきたい編」本体1480円、ステップ2「12才までに挑戦編」本体1100円

言葉を知らない、本を読んだり、作文・文章を書いたり、話し合ったりするとき、うまくいかないことが多いです。「Aさんの意見と、Bさんの意見は同じです」「三角形ABCの面積と、平行四边形CDEFの面積は等しいです」というべきなのに、「Aさんの意見と、Bさんの意見はいっしょです」「三角形ABCの面積と、平行四边形CDEFの面積はいっしょです」という人がいますが、間違いです。

この本を読むかどうかは別として、言葉の意味と使い方を身につけましょう。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

ひすいこたろう著「みるみる幸せが見えてくる授業」サンマーク出版 本体1400円



本の名前に授業とあるので、堅苦しいと思いがちですが、クイズに答えていくようになっていくだけで気楽に読み進めます。「なるほど!」と思うこともたくさんありますが、内緒であなただけにお教えしますが、結局「幸せ」とは、「ものは考えよう」「気の持ちよう」「明るく、元気に、前向きに」ということでしょうか。納得できないという人は、どこかで本書を見かけたら10ページ程度読んでみてください。

きっと、「こういうことか! がってん!!」ということになると思います。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

「新教育課程ライブラリー Vol. 11 新しい学びを起こす授業」ぎょうせい 本体1350円

本書の内容は、新学習指導要領の全面実施に向けて、学校現場が高い関心を持っている「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」「子どもに身につけさせたい資質・能力の育成」「授業づくりと学習評価」などです。著名な方々が縷々「解説」「実践例」「提案・主張」をしていて大変参考になります。

また、注目したいのは、川崎市立川崎小学校の吉新一之(よしあらたかずゆき)校長先生の「教師の秘伝に基づいた深い学びの追究」です。<教師の秘伝その1>は「全員が挙手して主体的に学ぶ少集団づくり」で、もし、挙手して発言できない子がいたらどうするかなど、<教師の秘伝その2>は「話し合いで主体的に考え学びを深めていく集団作り」で、「最初は型を教える」から、次に「型にこだわらない」、「話し合いで大切にしたいこと」など、<教師の秘伝その3>は「全員で話し合い、認め合い、注意しあい、規範のある集団」で、川崎小学校の3通りの授業「習得の授業」「活用の授業」「探究の授業」などが、具体的に提案され、共有化し、実践しているということです。「目から鱗」でした。(注:「川崎市立川崎小学校」検索で、詳しい内容が閲覧できます。)



(BOKE 三宅)

★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。